

資料 3

高松広域都市圏都市交通マスタープランの フォローアップについて

目次

1. 都市交通マスタープランについて
2. フォローアップの概要
3. フォローアップの仕組み
4. フォローアップする施策項目について
5. 施策の進捗管理について
6. 施策の評価について
7. PDCAサイクルの構築
8. その他

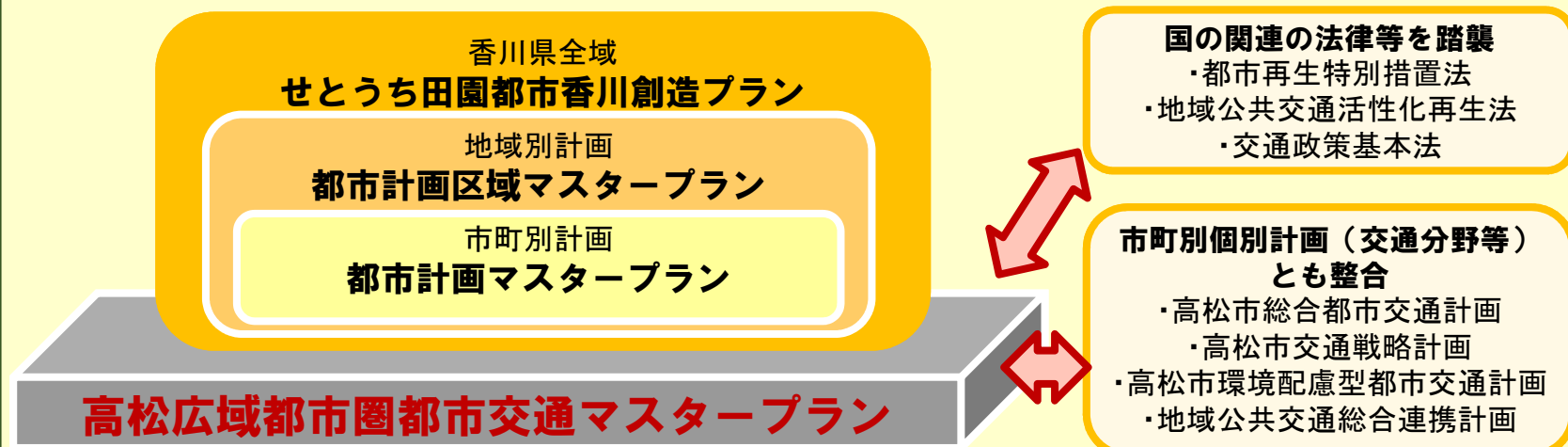
1. 都市交通マスタープランについて

①. 「高松広域都市圏都市交通マスタープラン」の背景

- ・人口減少・高齢化、環境問題、価値観の多様化、災害、交通行動の変化を誘引する様々な事象が生じている。
- ・目指す将来都市像となる「持続可能なまちづくり」を実現する、「**目標達成型の計画**」が求められている。

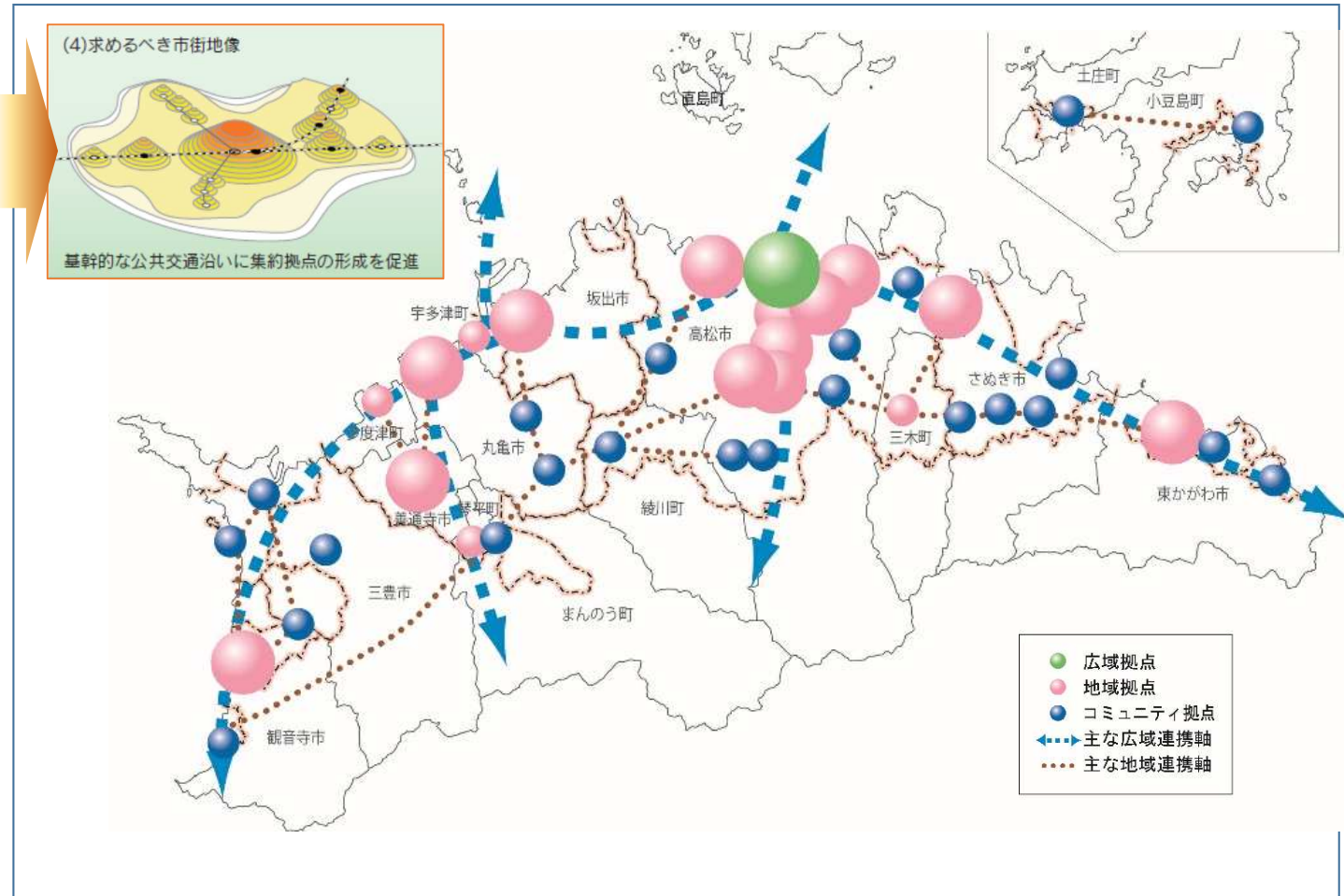
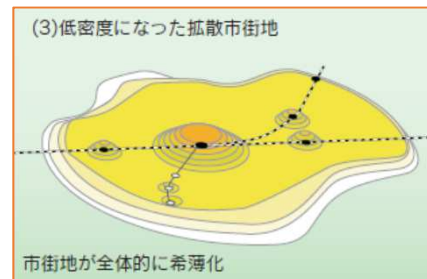
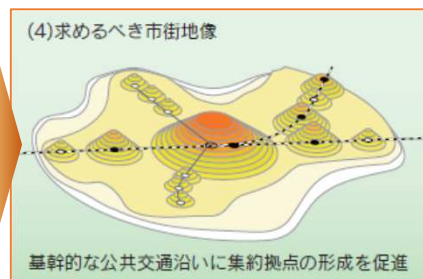
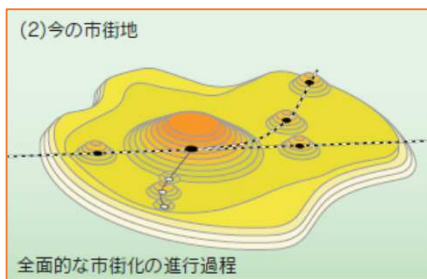
②. 高松広域都市圏都市交通マスタープランの位置づけ

- ・土地利用と交通に関する施策によってまちづくり計画を支える総合的な計画とする。



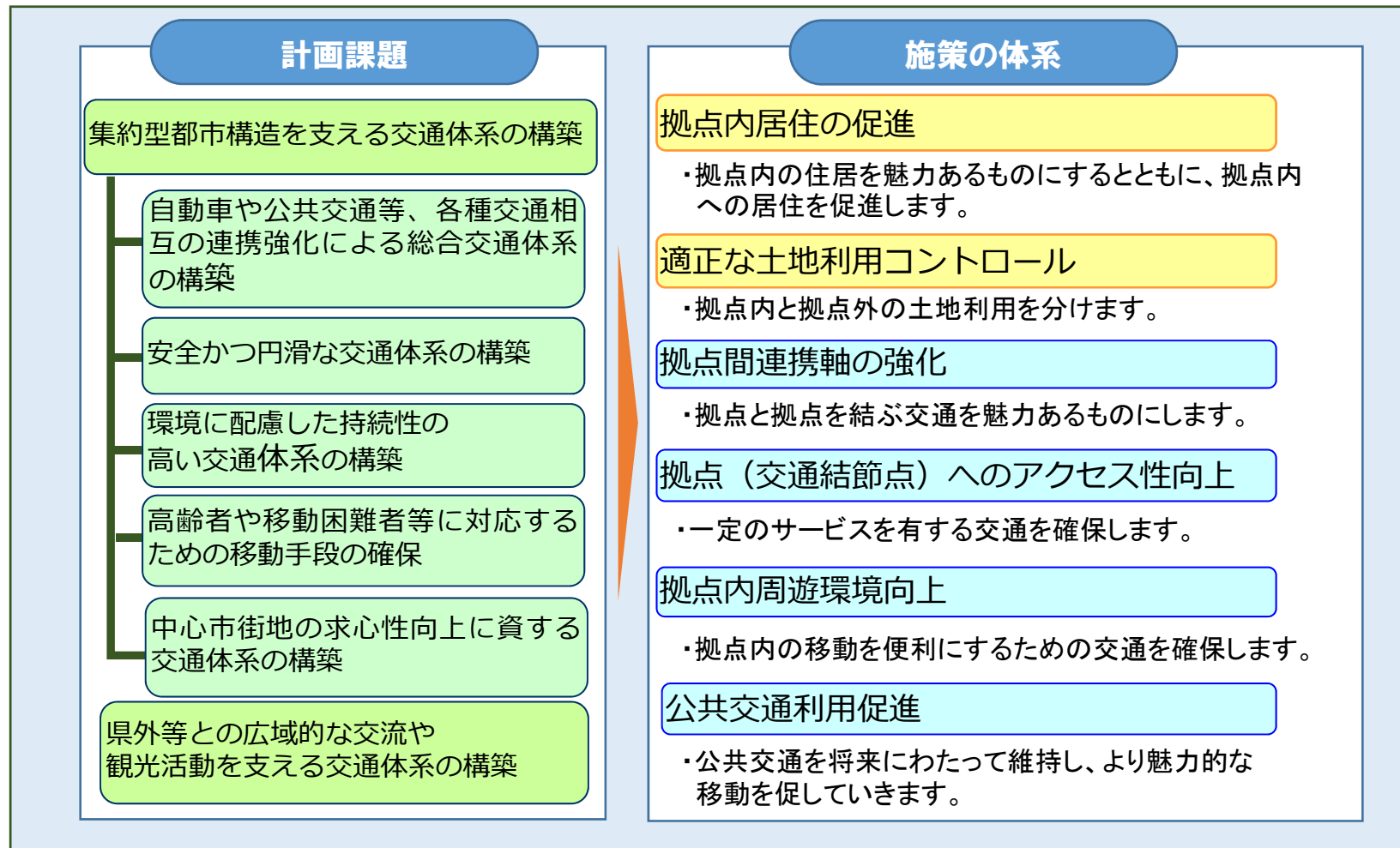
1. 都市交通マスタープランについて

○香川県が目指す将来都市構造



1. 都市交通マスタープランについて

○集約型都市構造への転換に資する計画課題・施策体系



土地利用と交通に関する34施策メニューの提案

2. フォローアップの概要

○フォローアップの目的

持続可能なまちづくりの実現に向けて、「高松広域都市圏都市交通マスタープラン」で提案された集約型都市構造及び公共交通の利用促進に資する施策の推進や進捗管理等を行うことによりPDCAサイクルを構築。

○フォローアップの取組体制

「高松広域都市圏都市交通マスタープラン」のフォローアップを当委員会が行う。

→【別紙委員会設置要綱 参照】

事務局は香川県都市計画課が行う。

○フォローアップ委員会の役割

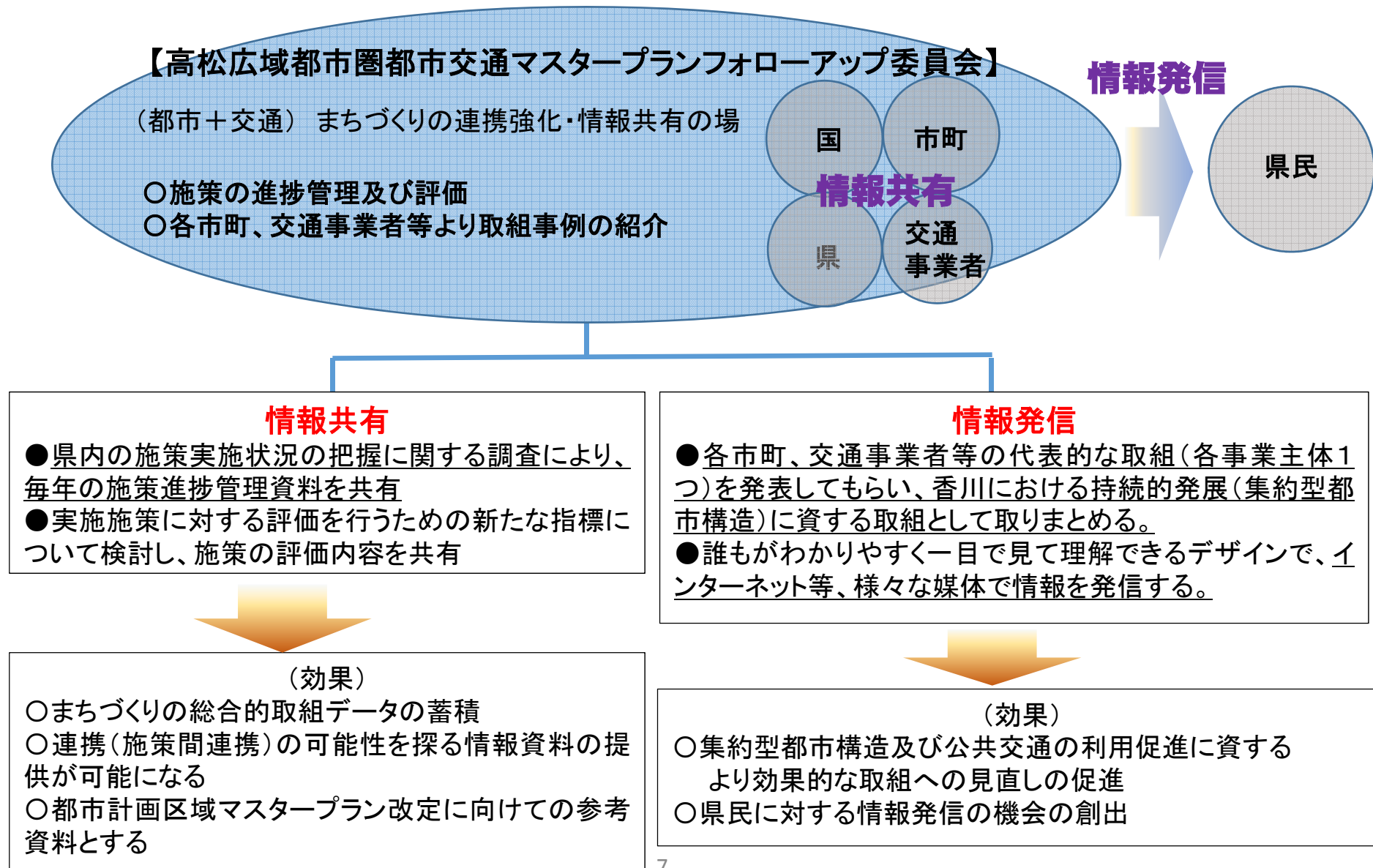
- ・施策の進捗管理及び評価
- ・施策見直しの必要性が生じた場合の改善方針の検討
- ・国、県、市町及び交通事業者が同一の方向性で施策を実施するための連携強化及び情報共有



マスタープランに示された施策の着実な実現

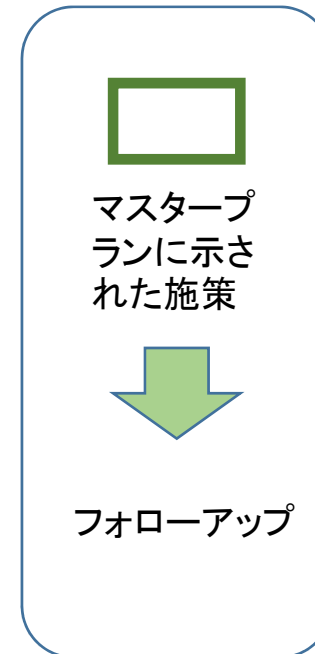
3. フォローアップの仕組み

○国、県、市町、交通事業者等が同一の方向性で施策実施を目指すための仕組みづくり



4. フォローアップする施策項目について

○マスタープランに示された施策項目



5-1. 施策の進捗管理について (施策実施状況の把握に関する調査)

●平成27年度に実施した施策について、下記のようなアンケート方式で調査を行いますので、ご確認ください。

拠点内居住の促進

31. ライフステージ変化時の都心居住優遇措置(補助)

32. 拠点内建築物のリノベーション

○アンケート調査(案)

想定される対象団体

回答欄

備考欄

31	ライフステージ変化時の都心居住優遇措置(補助)	全市町	拠点内への住み替えを促進するための都心居住優遇措置に関する施策がありますか? ①ある ②都心居住に限定しない施策はある ③ない ④今はないが検討中	(①の施策名) ・〇〇事業 (②の施策例) ・定住促進補助事業 ・空き家バンク活用促進 等 (④の検討内容)
32	拠点内建築物のリノベーション	全市町	拠点内の建築物におけるリノベーション推進を実施する施策がありますか? ①ある ②拠点内に限定しない施策はある ③ない ④今はないが検討中	(①の施策名) ・〇〇事業 (②の施策例) ・シンポジウムの開催(H27.〇.〇) (④の検討内容)

適正な土地利用コントロール

33. 拠点外の土地利用規制

34. 拠点内の用途地域の設定

○アンケート調査(案)

想定される対象団体

回答欄

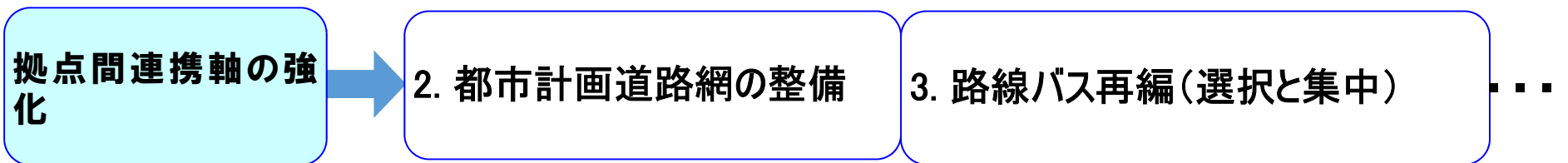
備考欄

33	拠点外の土地利用施策	全市町	拠点外において居住・施設立地を抑制するための土地利用施策の新規指定又は見直しを実施していますか? ①はい ②いいえ ③検討中	(③の検討内容) 施策例 ・特定用途制限地域の見直し
34	拠点内の用途地域の設定	全市町	拠点内において用途地域の新規指定又は見直しを実施していますか? ①はい ②いいえ ③検討中	(③の検討内容)

* 都市計画事業にこだわらず庁内で行われている関連施策も含めて調査してください。
これらの施策の啓発活動についても行った事例がある場合はご記入ください。
想定される対象団体については、今回、マスタープランを参考に事務局の方で記入しています。

5-2. 施策の進捗管理について (施策実施状況の把握に関する調査)

●平成27年度に実施した施策について、下記のようなアンケート方式で調査を行いますので、ご確認ください。



○アンケート調査(案)

↓ 想定される対象団体

↓ 回答欄

↓ 備考欄

2	都市計画道路網の整備	道路管理者 (国、県、全市町)	平成27年度に整備完了した都市計画道路はありますか? ①ある ②ない		(①の延長、整備箇所)
3	路線バスの再編 (選択と集中)	全市町 バス事業者	路線バスの再編(選択と集中)を行っていますか? ①はい ②いいえ ③検討中		(①の再編内容) (③の検討内容)

拠点(交通結節点)
へのアクセス性向上

11. 拠点内主要駅のバリアフリー化

22. デマンドバス・乗合タクシー等
需要に応じたサービス検討

○アンケート調査(案)

↓ 想定される対象団体

↓ 回答欄

↓ 備考欄

11	拠点内主要駅のバリアフリー化	鉄道事業者	拠点内の主要駅をバリアフリーにしていますか? ①している ②していない ③検討中		(①の整備内容) (③の検討内容)
22	デマンドバス・乗合タクシー等 需要に応じたサービス検討	全市町	デマンドバス・乗合タクシー等需要に応じたサービス施策を実施していますか? ①ある ②ない ③現在はないが検討中である ④今のものを見直しを検討中である		(①の施策内容) (③、④の検討内容)

* 庁内で行われている関連施策も含めて調査してください。

想定される対象団体については、今回、マスタープランを参考に事務局の方で記入しています。

5-3. 施策の進捗管理について（施策実施状況の把握に関する調査）

●平成27年度に実施した施策について、下記のようなアンケート方式で調査を行いますので、ご確認ください。

拠点内周遊環境
向上

14. 自転車専用道・レーン等
整備

27. 道路空間の再編

○アンケート調査(案)

想定される対象団体

回答欄

備考欄

14	自転車専用道・レーン等整備	道路管理者 (国、県、全市町)	拠点内において自転車専用道・レーンを整備しましたか？ ①ある ②ない ③検討中		(①の延長及び整備内用) (③の検討内容)
27	道路空間の再編	道路管理者 (国、県、全市町)	拠点内において、道路空間を再編する施策はありますか？ ①ある ②ない ③検討中		(①の施策内容) (③の検討内容)

公共交通利用促進

17. 鉄道・バス・P&R等間の共通ICカード化による料金割引

18. モビリティマネジメントの実施

○アンケート調査(案)

想定される対象団体

回答欄

備考欄

17	鉄道・バス・P&R等間の共通ICカード化による料金割引	全市町 交通事業者	公共交通利用促進のため、鉄道・バス・P&R等間の円滑化に資する施策はありますか？ ①ある ②ない ③現在はないが検討中である ④今のものに付け加えて検討中である		(①の施策内容 例：共通ICカード化による料金割引制度等) (③、④の検討内容)
18	モビリティマネジメントの実施	全市町 交通事業者	公共交通利用促進を図るモビリティマネジメントの施策はありますか？ ①ある ②ない ③現在はないが検討中である ④今のものに付け加えて検討中である		(①の施策内容) 例：カーフリーデー等 (③、④の検討内容)

* 庁内で行われている関連施策も含めて調査してください。

想定される対象団体については、今回、マスタープランを参考に事務局の方で記入しています。

5-4. 施策の進捗管理について

(取組事例の紹介に関する調査)

● 下記のような取組事例の紹介に関する調査を行いますのでご確認ください

① 平成27年度に実施した施策のうち代表的な取組事例について概要をご記入下さい

② 平成28年度以降、重点的に取り組む予定の施策についてご記入ください

* ①について詳細がわかる資料(既存資料)をご提出ください



①を事務局で集約し、県媒体等で情報発信

6.施策の評価について

●マスタープランでは下記のような評価指標を設定しています

評価の視点	評価結果の考察	モニタリング指標	用いるデータ (案) (データの公表年間隔)	現況値
都市・ 地域経営	人口減少による税収減、超高齢化社会による社会保障費の増加のため、歳出・歳入比は上昇するものの、集約化を図ることにより、効率的な都市経営に寄与。	■歳出・歳入額(比) 香川県がとりまとめる一般会計に関する歳出・歳入をモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	香川県一般会計決算(毎年)	【H25】0.97 (歳入:約 4,489 億円 歳出:約 4,369 億円)
		■目的別(土木費等)歳出/人口 土木費や民生費など、目的別の歳出額を人口で除した一人あたりの目的別歳出を指標として設定し、維持管理等に関する費用および人口減少下における一人あたりの歳出額について経過観察を行う。		【H25 土木費】 約 46 千円(歳出/人口) 【H25 民生費】 約 56 千円(歳出/人口)
		■拠点内人口 集約化の進行状況を把握するための指標として、拠点内人口を設定する。	国勢調査メッシュ人口(5年間隔)	【H22】約 57 万人
地域活性化	拠点へのアクセス性を高めることにより、拠点へのトリップ数の増加が図られ、それにより都市の活性化が図られるものと想定される。	■年間商品販売額 商業統計として整理することとなっている「年間商品販売額」をもとに、拠点内商業施設に関する販売額を算出したものをモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	経済センサス(概ね 3 年間隔)	【H24】 -
田園 都市生活	集約型都市構造へ移行することにより、都市圏内トリップの平均距離は短縮が図られ、より無理なく移動できる都市構造となりうる事が確認できた。	■公共交通利用者数 公共交通事業者の協力を前提に、各事業者の年間利用者数及び駅間 OD データを提供していただき、県合計を行ったものをモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	各市町・県の統計書 交通事業者からの報告 (1 年間隔)	【H24】約 3,183 万人 (JR:約 1,588 万人、 ことでん鉄道:約 1,262 万人、 ことでんバス:約 333 万人)
交通網 利便性	公共交通促進や集約化を図る施策により、公共交通利用の増加が図られる。	■アクセシビリティ・公共交通カバーエリア 鉄道およびバス時刻表をもとに、拠点駅・拠点施設からの時間圏を算出・図化するとともに、30 分圏人口カバー率等を算出し、その状況に関する経過観察を行う。	路線バス時刻表(随時) 国勢調査メッシュ人口(5 年間隔)	【H22】約 63.7%
		■交通手段分担率(通勤・通学) 交通手段状況を把握するために、主たる移動である通勤・通学に着目して、経過観察を行う。	国勢調査(交通手段別通勤通学流動) (10 年間隔)	【H22】 鉄道:6.9%、バス:1.1% 自動車:64.5%
交通安全 交通環境	各種交通対策により自動車分担率が低下し、交通事故・環境排出ガスの削減が図られることが確認できた。	■交通事故発生件数 香川県警察本部が主管として統計的にデータ整備を行っている交通事故件数をもとに、交通事故発生件数をモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	警察統計資料(毎年)	【H25】約 1 万人
		■CO2 発生量 香川県地球温暖化対策推進計画と連携し、運輸部門に関する CO2 発生量をもとに、環境への影響に関する経過観察を行う。	道路交通センサス(交通量・速度) (5 年間隔)	【H22】約 133 万 t-CO ₂ /年
総合評価	施策を導入することで、施策全体の効果はプラスであることが確認できた。	■県民の意見 施策の実施による効果について、県民の方々の意見をお伺いし、PDCAサイクルの実行と進捗管理の参考とする。	アンケート等 (県政世論調査、県政モニター制度等の活用)	

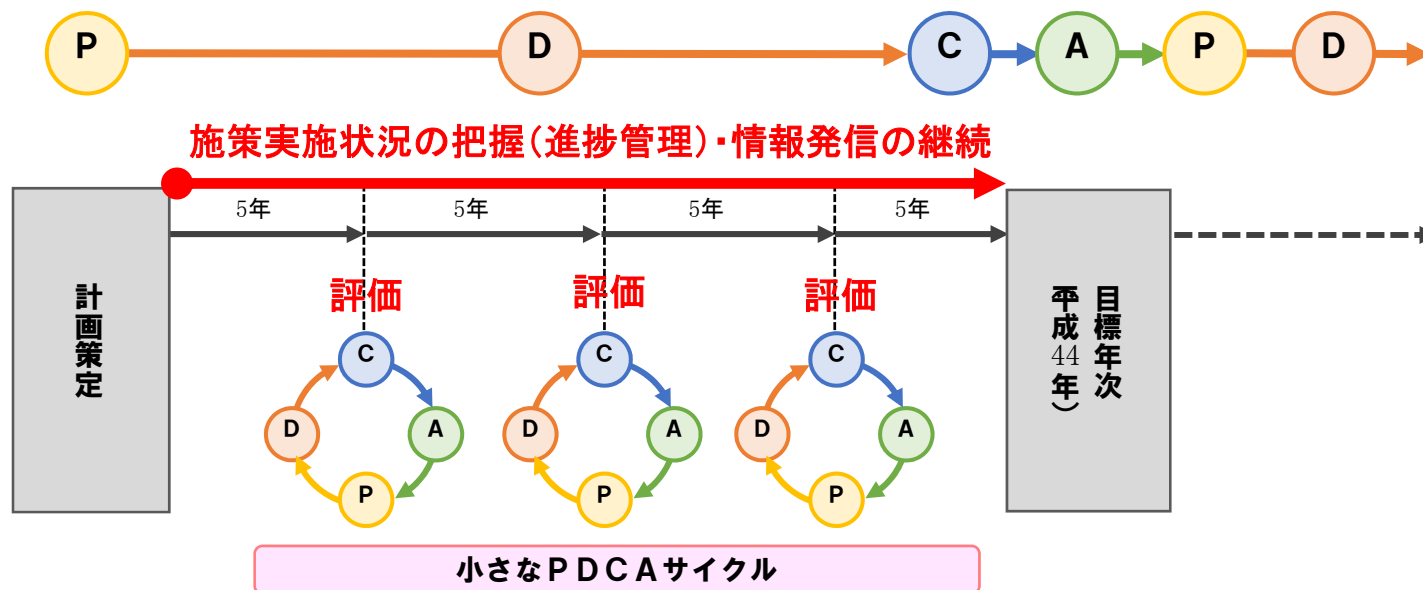


今後、効果的(施策実施の効果がわかりやすい)で簡易に計算できる指標での評価についても、追加検討していきます。

7-1.PDCAサイクルの構築

○下記のようなPDCAサイクルの確立

マスタープランの目標年次・・・平成44年



○フォローアップの頻度

・進捗管理・・・1年毎

各事業主体における施策の進捗管理表を基に、毎年の進捗管理結果の情報共有
各事業主体における代表的取組事例の情報発信

・施策評価・・・5年毎

評価指標の結果を協議し、必要に応じ施策の見直し等を検討する(小さなPDCA)

7-2.PDCAサイクルの構築

○第2回委員会に向けての今後の予定

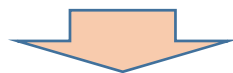
(今回) 第1回 委員会 (平成28年2月29日)



進捗管理に関するアンケート調査表の依頼(平成28年3月末頃予定)



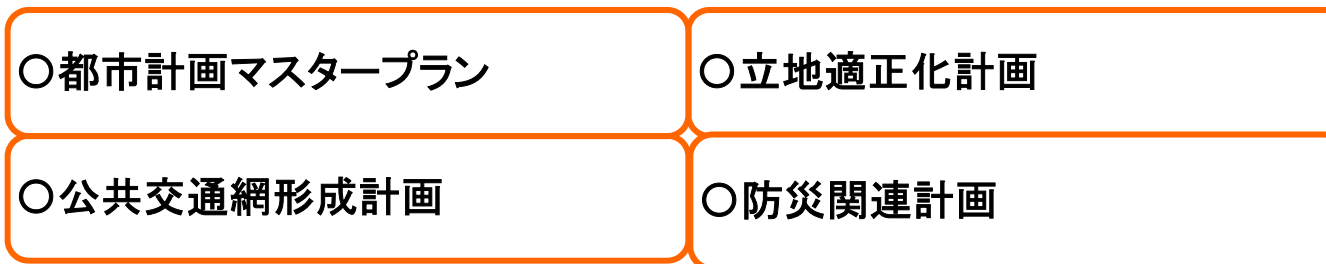
アンケート調査表の集約(平成28年5~7月頃予定)



(次回) 第2回 委員会 (平成28年夏頃開催予定)

8-1.その他 施策推進に資する主な計画策定状況の把握

○平成27年に実施した施策について、施策推進に資する主な計画策定状況を確認させていただきます。



○アンケート調査(案) 想定される対象団体 回答欄 備考欄

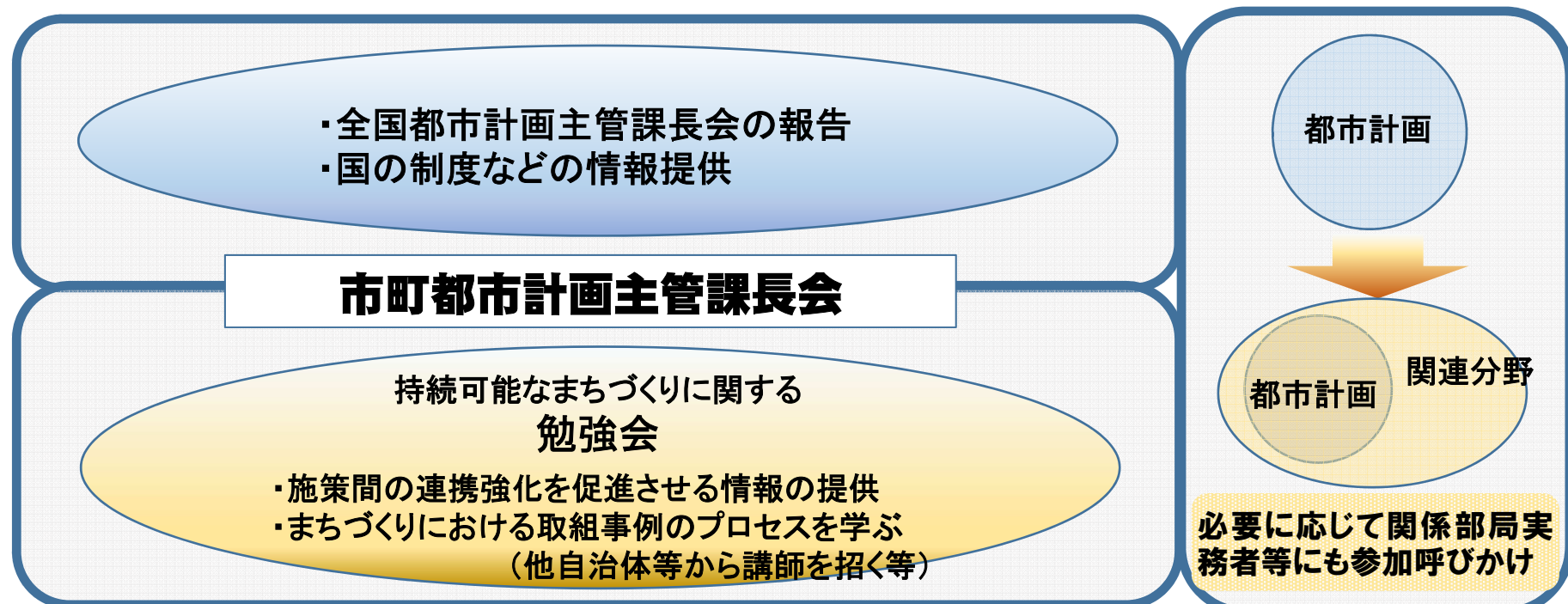
都市計画マスタープランの作成	全市町	都市計画マスタープランを作成していますか？ ①27年度に作成中もしくは作成済み ②26年度以前に作成済み ③いいえ ④検討中		(①②の場合、作成(公表)時期) (③の場合、作成に向けた課題) (④の場合、検討内容)
立地適正化計画の作成	全市町	立地適正化計画を作成していますか？ ①27年度に作成中もしくは作成済み ②26年度以前に作成済み ③いいえ ④検討中		(①②の場合、作成(公表)時期) (③の場合、作成に向けた課題) (④の場合、検討内容)
地域公共交通網形成計画の作成	全市町	地域公共交通網形成計画を作成していますか？ ①27年度に作成中もしくは作成済み ②26年度以前に作成済み ③いいえ ④検討中		(①②の場合、作成(公表)時期) (③の場合、作成に向けた課題) (④の場合、検討内容)
防災関連計画の作成	全市町	(1) 国土強靱化計画を作成していますか？ ①27年度に作成中もしくは作成済み ②26年度以前に作成済み ③いいえ ④検討中	(1)	(1)(2)ともに (①②の場合、作成(公表)時期) (③の場合、作成に向けた課題) (④の場合、検討内容)
		(2) 地域防災計画を作成していますか？ ①27年度に作成中もしくは作成済み ②26年度以前に作成済み ③いいえ ④検討中	(2)	

8-2.その他 勉強会開催(案)の予定

○勉強会等の開催(案)を予定しています

持続可能なまちづくりを行っていくためには・・・

- ・市町の実務担当者が同一方向性で施策実施を行っていく認識が必要
 - ・関連分野との連携も視野に入れた取組の認識が必要
- 国からの情報提供に加え、持続可能なまちづくりに資する様々な知識を学ぶ事によって、施策間の連携強化を促進



「高松広域都市圏都市交通マスタープラン」に関する施策実施の促進につながる

ありがとうございました